

JAMSTEC コア試料キュレーション - ユーザビリティの改善 JAMSTEC core sample curation - Improvement of usability

富山 隆将^{1*}, 佐藤悠介²
TOMIYAMA, Takayuki^{1*}, Yusuke Sato²

¹ 海洋研究開発機構 高知コア研究所, ² 海洋研究開発機構 地球情報研究センター

¹Kochi Institute for Core Sample Research, JAMSTEC, ²Data Research Center for Marine-Earth Science, JAMSTEC

大気-海洋-地殻システムの仕組みやその変動を理解する上で重要な情報が記録された海洋コア試料は、さまざまな学問領域で興味の対象となり得る、貴重な資源である。JAMSTEC は、2008 年度より、キュレーション・サービスを通して、JAMSTEC の観測航海によって得られたコア試料や関連データを一般の研究・教育用途への利用に提供してきた。現在では、高知コアセンターで所蔵する JAMSTEC コア試料コレクションは約 5900 セクションに達し、そのうち約 4400 セクションが公開されている。

JAMSTEC コア試料キュレーションでは、学際的な研究・教育の発展を促すため、これまで海洋コア試料に深く関わって来た専門家だけでなく、海洋コア試料に新たな興味を見いだした研究者・教育者への利用の普及も重視している。そのためには、試料コレクションや関連データを充実させるだけでは充分でなく、利用者が抵抗を感じる事なく必要な情報にアクセス出来る環境の整備が欠かせない。

JAMSTEC コア試料の利用情報や関連データは、2つのウェブサイト「JAMSTEC コア試料キュレーション」「JAMSTEC コアデータサイト」を中心に掲載されている [1, 2]。ユーザーはオンライン上に掲載された情報を用いて利用計画を検討し、電子メールによって利用申請を行う事が出来る。本年度は、これまでテキストベースの所蔵試料検索システムしかなかった「JAMSTEC コア試料キュレーション」サイトに地図検索システムが追加され、試料の検索性が格段に向上した。また、キュレーションによる取り組みとして、高精細イメージスキャン画像、X線 CT スキャノグラム画像や、微化石年代情報などの取得が進められており、「JAMSTEC コアデータサイト」上で公開されている。このような基礎データの充実により、ユーザーは、試料の性状をよく理解した上で研究・教育計画の検討を行うことが出来る。

取り組みを始めて4年目を迎えた JAMSTEC コア試料キュレーションは、拡大期を迎えつつある。公開試料やデータの拡充とユーザビリティ改善の取り組みに加え、今後は、国内外のデータベースや科学試料キュレーションとの連携を進めることが重要である。

[1] 「JAMSTEC コア試料キュレーション」 http://www.jamstec.go.jp/kochi/jc_curation/j/

[2] 「JAMSTEC コアデータサイト」 <http://www.godac.jamstec.go.jp/coredata/j/>

キーワード: 海洋コア試料, 試料管理, キュレーション

Keywords: Marine core sample, sample management, curation